

# 大崎市 議会 だより



第52号

平成29年12月1日発行

- 市長に聞きました・・・2～8
- こんな事を議論しました・・・9～11
- 平成28年度決算審査・・・12～14
- 議会報告・意見交換会・・・15～18
- 庁舎建設特別委視察報告・・・19
- 初めての議会傍聴・・・20

今回の定例会は



全国女性消防操法大会に出場した本市女性消防隊



# 一般質問



平成29年第3回大崎市議会定例会は、9月12日に招集され10月6日までの25日間の日程で行われました。

市政に対する一般質問は、10月3日、4日、5日、6日（4日間）の日程で、議員定数30人中19人が市長の見解を質しました。要旨は次のとおりです。



大友 文司

## 骨髄移植に伴う助成制度

**問** 宮城県議会6月定例会の一般質問で、知事は、来年度から骨髄移植の臓器提供者（ドナー）への助成として、ドナーの休業補償1日2万円、最大7日間を上限とした制度を導入すると答弁している。休業補償は、県内市町村との折半での負担を想定しているとのこと。既に全国314の自治体で助成制度を導入している。本市がこの制度を導入

入すると、骨髄移植を待つている皆さんへ光明を与えると考えられるかどうか。  
**答** ドナーの経済的負担への支援体制と認識している。「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づき、県や県内の動向を踏まえ研究していく。

## 古川駅前広場の整備

**問** JR古川駅は、県北の玄

関口として重要な駅である。駅舎からバスやタクシーの乗降場に向かう際、足元を気に濡れながら足早に移動している。駅舎出口から乗降場まで、屋根等を設置すべきと考えるかどうか。

**答** 利用者にご不便をかけている。一般車両との分離やタクシー乗り場の変更など、利用形態の見直しを含め整理していく。



横山 悦子

## 危機管理

**問** 市役所本庁舎に設置のJアラートの受信機を新型に更新すれば、より迅速な発信ができるが、その考えは。

**答** 新型受信機への更新により、迅速かつ確実な情報伝達が可能となるため、早期に導入する。

**問** 災害時用のマンホールトイレの設置状況と今後の計画についてはどうか。

**答** 古川第一小学校、岩出山

小学校は設置完了している。古川第三小学校、古川第四小学校は設置工事中である。今後は、大規模改修工事に併せて設置する。道の駅三本木やまなみは8基整備済み。あ・ら伊達道の駅は、断水時でも3日間使用可能となるように整備を行う。（仮）道の駅おさきは、設置を検討している。

## 新図書館運営

**問** 読書通帳の導入と蔵書計画、企業広告カバー導入は。

**答** 読書通帳を導入している図書館の情報を調査し、状況を注視する。蔵書は現在20万冊、最終的に40万冊を目指す。企業広告カバーは検討する。

**問** 駐輪場の屋根と、指定駐車場以外への無断駐車を注意する看板設置については。

**答** 早速、雨除けの対策をしたい。誘導看板、注意喚起用看板も設置したい。



小沢 和悦

### 清滝地区の「予約乗合いタクシー」

**問** 市中心部から遠いだけに1社だけの委託になると、競合する事業者への影響も大きいという問題を抱えている。

**答** うにできないか。

**問** 委託料は最低でも2万円は必要と、タクシー協会で話合われているかどうか。

**答** 委託料を上げると、収支率が下がることになるので、それも考慮しなければならぬ。

客が比較的多い業者グループが輪番で運行するのが現実的と思うが、その場合、予約申し込みを地区公民館で受け付ける体制も考えられるが、教育委員会所管だからできないとの話があるという。

**問** 改善のための努力は、今後とも行っていく。

**問** 本年8月1日、総務常任委員会が視察した熊本県八代市は、人口、面積とも大崎市に似ている。バス乗車人数が減ったらタクシーに切り替え、市民は片道150円、距離料金の不足分を、市が補助する仕組みであった。大崎市も一考して改善が必要ではないのか。

**問** 防災行政無線整備事業は、平成25年度から28年度まで、中継局・統制局整備、294局の屋外拡声子局整備、鹿島台地域全世帯及び松山・田尻地域の一部世帯に3663基の戸別受信機整備、防災行政無線テレホンサービス等の補完システム整備が行われ完了した。



木内 知子

### 市民が納得できる防災行政無線に

ナ必要世帯への対応の遅れはなぜか。③個人的な戸別受信機希望者への対応④今後の改善策と市民への対応

**答** ①放送が「聞こえない」「聞き取りにくい」という計画上の難聴世帯1303世帯には、戸別受信機を配付する。

また、計画上では聞こえる範囲でも難聴世帯があるので、屋外拡声子局のスピーカーの角度調節や増設、屋外拡声子局の増設も視野に入れ検討する。更に、テレホンサービス、大崎市メール配信サービス等の補完情報伝達の周知を図る。

### 市の花の普及啓発

**問** 市の花ひまわり制定については、三本木地区の壮大な「ひまわりの丘」を見る限り異論はない。

**答** ひまわりの種子を全戸配布した。更に、大々的な普及啓発となれば検討を要する。



佐藤 清隆

### 市役所本庁舎建設

**問** 市役所本庁舎建設で、新本庁舎と東庁舎との連絡路を設置することによって、二つの建物が一つの建物になることから、行政事務の効率性と集約性の観点からメリットがある。是非、連絡路の設置をすべきと思うがどうか。

**答** 市役所の建物の場合、公道を横断することには制約があるというので、可能性について検討をしたい。

また、旧南病棟については、病院という特殊な構造の建物なので利活用については検討中である。

また、旧市民病院南病棟も役所機能としての活用を検討されているようだが、ワンストップで役所機能が果たせる



防災行政無線戸別受信機

②今年度は、合計410世帯に配備するが、配付済み世帯で受信不良世帯の把握や、アンテナ取り付け業者選定に時間を要したためである。

③今後の課題として検討を進めていく。

④メール配信サービス等の補完システムの活用を働きかけていく。

一般質問（市長に聞きました）



鳴子温泉地域の河川の現状



後藤 錦信

## 河川管理と 立木処理対策

**問** 森林の荒廃もさることながら、現状の河川管理とりわけ増え続ける立木処理への取り組みはなかなか進まず、被害を拡大する要因となっている。

**答** 関係機関との連携も含め、今後の更なる取り組みについて伺う。

**問** 江合川等に係る立木処理については、江合・鳴瀬・吉田川水系改修期成同盟会を通じて、河川内樹木の伐採などの

適切な河川管理の推進を国・県へ要望している。引き続き、関係自治体と連携し強く要望していく。

### 鳴子温泉地域の河川整備

**問** 鳴子温泉地域では、合併前、川渡から上流域に向けて、江合川水辺プラン構想のもとに整備が実施されてきた。

**答** 車湯から上鳴子大谷川合流地点までの整備の見直しは。上流区間は、多数の堤外民地が存在し、その処理が課題となっており、事業が休止となっている。早期実施と適正な維持管理を県へ要望していく。

**問** 観光地、鳴子ダムの下流域の視点から早期の整備の考えは。

**答** 県北部土木事務所からも支障木の伐採に前向きな話をいただいているので、今後とも情報交換を行っていく。

### 掲載以外の主な質問項目

・森林ビジョン実施に向けて



八木 吉夫

## ごみ処理施設の 排熱活用策

**問** （仮称）西地区熱回収施設等周辺地域振興ビジョンとエコタウン構想で、排熱利活用をどのように捉えているのか。人口減による税収、地方交付税縮減等を踏まえた自治体として、公営企業の収益増を計画し、将来の市民負担軽減に繋げるべきと考えるが所見を伺う。

**答** 東日本大震災の教訓から、ごみ処理施設が滞ることなく

運転できるようにする。熱回収施設は、発電により施設内の電力及び隣接するリサイクルセンターで使用する電力を補う。余剰電力は、売電するものとし発電に伴う余熱を活用し、冷暖房設備・給湯設備等を作動させるものである。更に、施設外利用機能も可能となる計画になっている。特にリサイクルセンター管理棟2階は、地区住民が避難場所

や集会施設として利用できるスペースが確保されており、施設からの電力を活用した地域還元施設となる予定である。また、売電収益により、市から広域行政事務組合への負担金が軽減することから、結果的に市民負担の軽減に寄与できるものと考ええる。本市としては、（仮称）西地区熱回収施設等周辺地域振興ビジョンに基づいて、地区の意見を頂きながら地域振興に努めていく。



相澤 孝弘

## 入札事務の改善と 地元業者優先発注

**問** 物品調達入札事務において、同等品を認める場合について、徹底されていない不適切な事例があるかどうか。

**答** 平成28年12月から同等品であることの確認を入札前に受けることとしていたが、落札決定時に確認手続きが徹底していないことがあった。今後は、確実に確認が行われるように、仕様書の内容や入札手続きを改善していく。

**問** 地元企業が、受注しやすい工夫はなされているのか。

**答** 市内経済還流、地元業者育成の観点から、地元業者を優先した指名競争入札を取り入れ、受注機会の確保に配慮している。

また、技術力等を結集する必要がある大規模かつ技術的難度の高い工事は、地元業者を含めた共同企業体を組織してもらい発注する場合もある。

### 掲載以外の主な質問項目

・世界農業遺産認定後の自然環境の保全と整備の取り組み  
・弾道ミサイルを想定した住民避難訓練  
・新たな冠水対策として雨水下水道整備計画の必要性





山村 康治

## 県道河南築館線の田尻大古川登米線の整備

**問** 県道河南築館線の田尻大貫地内は、幅員が狭隘で対面交通が困難な状況にあり、早急に整備を進めるべきではないか。

**答** 本路線の大貫地内については、主要地方道河南築館線道路整備促進期成同盟会で、県に対し強く要望していく。

**問** 県道古川登米線の側溝整備が、桜田地内で中断している。ここから以西も早期に整備すべきではないか。

**答** 備すべきではないか。県北部土木事務所では、今年度11月に着手とのこと。継続して整備を要請していく。

### 公民館指定管理

**問** 公民館機能の充実強化や人材確保の面でも、公民館職員の時給改善を図るべきではないか。

**答** 指定管理料算定の基準を定め、人件費の考えを整理し



木村 和彦

## 放課後児童クラブの待機児童解消策

**問** 放課後児童クラブの待機児童解消策とし、学校敷地内での建設を提言しているが、検討の経過と方向性について伺う。

**答** これまで多方面から議論してきた。来年度開校の統合岩出山小学校については、敷地内に予定している。

現在待機児童が多い古川第四小学校については、周辺で場所の確保が難しく、集会所

や公園の敷地内も検討したが、まだ結果が見いだせていない。今後も鋭意検討していく。

### 鶴巻工業団地に道の駅を

**問** 新鶴巻地区に工業団地の計画が進められているが、この場所は交通の要衝でもあり、長者原スマートインターにも近接している。地産地消や産業育成を含め、道の駅を併設すべきと考えがどうか。

た。基本給の見直しと賞与、退職金共済掛け金を見込んで

### クラブハウス拡張

**問** 加護坊パークゴルフ場のクラブハウスは、来場者の増加で手狭になっており、拡張増設をすべきではないか。

**答** 拡張増設については、たじり穂波公社や田尻パークゴルフ協会と協議していく。

**答** 農山村地域資源活用施設の拠点整備構想など、県と今後十分協議し、整備手法も含め検討していく。地産地消の考えから、JAとも協議を行い全体的な整備手法を検討する。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・公立幼稚園のあり方
- ・2歳児の幼稚園保育



佐藤 和好

## 北原工業団地周辺の交通環境整備

**問** 誘致企業の規模拡大進出により、大幅な通勤車両の増加が見込まれる北原工業団地周辺の、交通渋滞解消のための道路網整備はどうするのか。

**答** 当初案の市道台所線からの農道活用ルートは、冬季気象環境等から断念し、国道347号からの北上ルートを整備する。

**問** 同工業団地と直近の東北道古川インター、国道47号周辺に及ぼす交通環境の影響を

どう捉えているか。

また、新田交差点の慢性的渋滞解消に向けての検討経過はどうか。

**答** 新田交差点は、渋滞対策を検討する宮城県渋滞対策連絡協議会においても、渋滞箇所として示されている。今後、北原工業団地の規模

拡大による更なる交通混雑が予想され、早期対策が必要であることから、国土交通省と連携し円滑な車両交通の確保に向けた課題の抽出、渋滞緩和策を調査研究する。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・公共施設等総合管理計画
- ・防災行政無線の有効活用
- ・市民病院本院の聴覚障害者対応状況
- ・公共事業用地交渉の人的配置



北原工業団地へ接続する現在の市道



佐藤 弘樹

## 創業支援の充実

**問** 本市の創業支援では、「おおさきコワーキングスペース(atata)」が成果をあげているが、既存の施策や事業を検証し、更なる創業支援の充実に図るための考えは。

**答** 「大崎市創業支援事業計画」が国から認可され、NPO法人未来産業創造おおさき、商工会議所、商工会、金融機関が連携し、起業を目指す人や起業して間もない人を継続的にサポートしている。引き



創業支援を受けて起業した店内（カフェスペース）

続き、各種公的支援制度の紹介や専門機関の案内などを行い、様々な課題の相談体制を充実したい。

### 陸上競技場の整備計画

**問** 市内には公認の陸上競技施設が無く、近隣市町の施設を利用し各種大会を開催している現状である。陸上競技場や総合的なスポーツが出来る施設整備に向けての考えは。

**答** 市民からも、総合的な運動公園や陸上競技場とサッカー場を兼ねた施設などの要望がある。まずは、既存施設の老朽化対策を優先し、方向性も含めて総合的に判断したい。

### 掲載以外の主な質問項目

- ・ 空校舎等を活用したアーテイストヴィレッジ構想
- ・ 小学校遊具の早期更新を（仮称）大崎東学校給食センター建設計画の進捗



大山 巖

## 鳥獣による農林業被害防止対策

**問** 電気柵を設ける等の措置を講じ、一定の成果をあげてきたが、年々頭数が増加し被害が拡大している。鳥獣の捕獲、増殖の防止対策を完全に実施しなければ、農林業者は将来が見えず嘆くのみである。「鳥獣による農林水産業に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」が、平成20年から施行されていることから、早急な補助の考えは。

**答** 平成29年9月補正予算にも、充分とはいえないが助成金を計上した。

### 交通安全運動事業

**問** 春・秋等の交通安全運動の事業は、今秋も多くの団体、企業の参加・協力で盛会に終了した。

しかし、合併以前は、現行の運動の倍以上の規模で実施していた。

玉造交通安全協会の事業は、旧鳴子町、旧岩出山町の助成金で充実した事業が行われてきた。特に、広報活動で交通事故防止の意識を浸透させることができた。

現行の運動はイベント開催が主で、日々の啓蒙活動は縮小されているのが現実であるが、今後の支援策はどうか。

**答** 平成22年度より、運営費補助から事業費補助へ方針転換している。今後の支援については、人的、物的支援を行っていく。



鎌内つぎ子

## 放射性物質汚染廃棄物処理の住民説明会対応

**問** 先日、農林業系廃棄物の試験焼却に関する説明会があり、本市としては「試験焼却」に取り組むということだが、古川中央クリーンセンター周辺のわんぱく保育園の先生20名からは、子ども達が書いた自然の中で遊んでいる絵と、燃やすと書かれた横断幕を持って放射性物質汚染廃棄物の焼却反対の訴えがあった。「子どもを産み育てやすい

まちづくり」をスローガンに掲げている市長の対応と、今後の説明会の予定について伺う。

**答** 安全の確保、焼却の必要性や放射能についても丁寧に説明していく。

今後の住民説明会の開催予定については、10月下旬以降を目途に行う。

**問** 住民の合意が得られない場合、大崎圏域市町の首長の

共通認識事項で、平成29年度に予算化された国の農業生産対策等交付金制度の活用も、選択肢として実行すべきではないか伺う。

**答** 農林水産省の予算は、一時保管で恒久対策ではないので、選択肢としては考えていない。そのため、説明会で資料には含めなかったが、会場からの質問があり説明したものである。





山田 和明

### 医療型 短期入所施設の整備

**問** 重症心身障がい児・障がい者の医療型短期入所施設は、大崎管内には整備されておらず、障がい児・者を抱える家族は不自由な生活を余儀なくされている。

この10月から栗原市立若柳病院で事業開始する予定である。市民病院は、今後、県北の2病院における利用状況等を把握し、必要性についてを民生部及び宮城県と協議した上で、実施について判断したいと考えている。

**答** 宮城県医療型短期入所モデル事業の委託事業として、登米市立米谷病院で実施して



関 武徳

### 小学校の 外国語教育の取り組み

**問** 5、6年生で取り組んできた外国語活動の評価と課題をどう捉えているのか。強化への移行措置の考え方と外国語教員の確保と授業時数の確保はできるのか。

「話すこと」「聞くこと」に加え、「書くこと」「読むこと」を学習するが、この接続が課題である。移行措置については、「小学校外国語科検討委員会」を立ち上げ、年間指導時数確保、指導体制、指導教材及び評価方法を検討しガイドラインを作成、ALTや語学指導補助員を活用する。現教員については、専門研修等指導力の向上を図る。授業時

**答** 児童は、外国語に関心を持ち、外国語と母国語の表現の違いや文化の違いへの気付きが見られる。これまでの

### ヘルプカードの導入

**問** ヘルプカードは、障がいのある人が緊急時や災害時、困ったときに、周囲の配慮や手助けをお願いし易くするもので、必要な支援がはつきり伝わるものである。本市でも導入を図るべきと考えるが所見を伺う。

**答** 障がい者団体、保健・医療関係者、障がい者福祉サービス事業者などで組織している自立支援協議会で話題提供し、ヘルプカードの導入について今後検討したい。

数の確保は、文部科学省の方針や検討委員会の結論を得て、各校に例示する。  
また、小・中・高連携は、古川南中学校と古川第五小学校で取り組み、互いに授業参観、南中の英語教員が第三小で授業を行う等、この2校を研究協力校に指定し、その成果を紹介し普及を図る。



佐藤 仁一

### 健康寿命・平均寿命が 県平均以下

**問** 平成27年の健康寿命県平均は女性が84・13歳、男性79・43歳。本市は女性83・86歳、男性78・38歳。平均寿命は県平均、女性87・43歳、男性80・95歳。本市は女性87歳、男性79・81歳となっている。男性を参考にみると、健康寿命で山元町の82・36歳と約4歳の差、平均寿命も山元町の84・55歳と約5歳の差がある。延伸向上のために、特に口腔歯科の充実が必要であり、

医科と歯科との有機的連携に向けて、市職員として歯科衛生士2名を配置しているが、体制を見直し増員整備すべきではないか。

### 医療ウィッグの購入助成

**答** 数値はその通りである。原因もわかつていっているので総合的な政策を行っていきたい。

**問** 今や2人に1人ががんになり患すると推計され、がん治療の多くの人が脱毛などの副作用で、生活の質の低下や社会復帰・就労機会に不安を抱いている。支援策を確立して不安の無い市民生活が得られるように、県と連動して相乗効果を図るべきである。

**答** 国・県も来年度に向けて前向きな動きであり、タイアップしていきたい。



健康チェックコーナー（健康と福祉のつどい）



遊佐 辰雄

### 放射性物質 汚染廃棄物の処理

**問** 試験焼却は人体実験に繋がる。住民の理解が得られない焼却処分は、断念すべきではないか。

**答** 住民説明会で、丁寧な説明をして、安全安心が理解されるよう努める。

**問** 低線量被ばくで、健康被害が心配される。焼却せず現在の保管場所から移動させ、安全な保管管理をすべきではないか。

**答** 早期の処理が望まれるが、移動しての長期保管は難しい。

### 花洲山の活用とオルレ認定

**問** 花洲山の Gondola リフトの利活用を検討してはどうか。

**答** 多額の費用、権利関係や国有地の賃貸借等の困難な問題が多く難しいと考える。

**問** この素晴らしいトレッキングコースを、どう認識しているのか。

**答** ブナ林、ドウダンツツジ、ゴヨウツツジの群生があり、眺望もよく最高のコースである。

**問** 県が計画している韓国オルレコース（トレッキングコース）の認定を目指し、観光の目玉にすべきと考えるがどうか。

**答** 11月21日に、関係機関・団体と一緒に認定に向けて交渉し、平成30年の認定を目指している。



佐藤 仁一郎

### 新生児聴覚検査

**問** 新生児の先天性聴覚障害の早期発見と、音声言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的として、新生児聴覚検査の実施状況と、検査手数料の助成制度を設けることはできないか。

**答** 市内では、市民病院を含めた三つの産科医療機関において、全額自己負担で検査を行っている。県では現在「新生児聴覚検査マニュアル」の

見直しを進め、検査後の養育体制や関係機関との連携について検討しており、市としてはそれらを踏まえ、受診体制や要支援者への支援体制について整備していく。

### 防災行政無線難聴対策

**問** 防災無線、戸別受信機の難聴世帯への対策を伺う。

**答** 戸別受信機付属のアンテナでは受信できない行政区長

### 大規模停電時の 信号機再点灯

や自主防災組織の代表者が多くおり、順次外部アンテナを設置し、良好に受信できるように作業を進めていく。

**問** 大規模停電時における信号機の再点灯策と、防災訓練時にも再点灯訓練を実施できないか。

**答** 警察庁では信号機電源付加装置の整備を進める方針であり、管内警察署とも連携を密にしている。

### 議会の主な動き

9月	10月	11月
1日 情報化対策特別委員会	2日 民生常任委員会	6日～8日 民生常任委員会
5日 総務常任委員会	3日 本会議	9日 市役所庁舎建設調査特別委員会
8日 市役所庁舎建設調査特別委員会	4日 本会議	9日 情報化対策特別委員会
12日 本会議（第3回定例会）	5日 本会議	13日～15日 議会運営委員会
15日 民生常任委員会	6日 本会議	16日 総務常任委員会
19日 本会議	7日 民生常任委員会	17日 総務常任委員会
22日 産業常任委員会	8日 民生常任委員会	20日～21日 情報化対策特別委員会
26日 決算特別委員会	9日 民生常任委員会	23日 本会議（臨時会）
27日 産業常任委員会	10日 民生常任委員会	24日 情報化対策特別委員会
28日 決算特別委員会	11日 民生常任委員会	25日～27日 産業常任委員会
29日 議会運営委員会	12日 民生常任委員会	27日 総務常任委員会
	13日 民生常任委員会	30日 民生常任委員会
	14日 民生常任委員会	
	15日 民生常任委員会	
	16日 民生常任委員会	
	17日 民生常任委員会	
	18日 民生常任委員会	
	19日 民生常任委員会	
	20日 民生常任委員会	
	21日 民生常任委員会	
	22日 民生常任委員会	
	23日 民生常任委員会	
	24日 民生常任委員会	
	25日 民生常任委員会	
	26日 民生常任委員会	
	27日 民生常任委員会	
	28日 民生常任委員会	
	29日 民生常任委員会	



# 平成29年 第3回定例会

今定例会は、市長提出の平成29年度大崎市一般会計補正予算第2号（6億2,191万5千円増額）をはじめ、議案として予算案5件、人事案3件、報告6件、工事請負契約締結4件、その他1件及び議員提出議案4件が提出されました。

このうち、議案第130号は賛成少数で否決となりました。その他の議案は原案のとおり可決されました。

また、請願1件は民生常任委員会に付託され、請願第1号は継続審査となりました。

※議案第120号から同第123号までは、決算特別委員会に付託され審査されました。詳しくは、12～14ページをご覧ください。

## 市長提出議案

件 名		審議結果	
専決処分 報 告	報告第16号	交通事故に係る和解に関することについて	—
	報告第17号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
	報告第18号	交通事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて	
報 告	報告第19号	平成28年度大崎市水道事業会計継続費精算報告書	—
	報告第20号	平成28年度大崎市健全化判断比率	
	報告第21号	平成28年度大崎市公営企業の資金不足比率	
人事案件	諮問第5号 ～7号	人権擁護委員の推薦について	原案同意
補正予算	議案第114号	平成29年度大崎市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
	議案第115号	平成29年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	
	議案第116号	平成29年度大崎市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
	議案第117号	平成29年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
	議案第124号	平成29年度大崎市一般会計補正予算（第3号）	
工事請負 契約締結	議案第118号	旧大崎市民病院本院解体工事及び改修工事	原案可決
	議案第125号	上鳴子住宅建替事業住宅建設工事（建築）	
	議案第126号	上鳴子住宅建替事業住宅建設工事（機械）	
	議案第127号	上鳴子住宅建替事業住宅建設工事（電気）	
そ の 他	議案第119号	財産の取得について	原案可決
決 算	議案第120号	平成28年度大崎市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案認定
	議案第121号	平成28年度大崎市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	
	議案第122号	平成28年度大崎市水道事業会計決算認定について	
	議案第123号	平成28年度大崎市病院事業会計決算認定について	

議員提出議案

件名			審議結果
決議	決議案第1号	北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する決議	原案可決
意見書	議案第128号	免税軽油制度の継続を求める意見書	原案可決
	議案第129号	地方財政の充実・強化を求める意見書	
	議案第130号	加計・森友学園疑惑の真相解明を求める意見書	否決

意見が分かれた議案の賛否一覧

議案第130号 加計・森友学園疑惑の真相究明を求める意見書（賛成10：反対18）

議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果	議員名	議決結果																																						
佐藤仁一郎	×	佐藤仁一	×	八木吉夫	×	水室勝好	×	佐藤弘樹	×	中鉢和三郎	×	相澤久義	欠	鎌内つぎ子	○	木村和彦	×	加藤善市	○	横山悦子	×	関武徳	×	遊佐辰雄	○	只野直悦	×	相澤孝弘	×	富田文志	×	山田和明	×	後藤錦信	×	山家善男	×	山村康治	○	木内知子	○	豊嶋正人	○	青沼智雄	×	佐藤和好	×	大友文司	○	佐藤勝	○	大山巖	○	佐藤清隆	×	小沢和悦	○	門間忠	議

「可」→可決、「否」→否決、「○」→賛成、「×」→反対、「欠」→欠席、「議」→議長

請願

件名			審議結果
請願	請願第1号	大崎市手話言語条例（仮）制定を求める請願書	継続審査

第3回定例会  
議案審議

平成29年第3回定例会の議案審議は、9月12日、15日、21日の3日間で13人が質疑を行いました。議案質疑の要旨については次のとおりです。

鳴子温泉源泉掘削作業

**問** 今回の補正の目的と事業内容は。  
**答** 新規掘削した15号源泉から高濃度の硫化水素が発生し、健康被害が心配される事態となり、苦渋の選択として埋杭を決断したものでその費用である。

空き家活用定住支援事業

**問** どのような内容を計画されているのか。  
**答** 市外に在住する若者夫婦世帯及び子育て世帯に対して、家賃の一部を助成することで本市への移住を促進するもの。また、賃貸とする住宅の対象を空き家住宅とすることで、空き家の活用を促進するもの。

今回の補正については、国の制度が示されたことに伴い、家賃と改修費の助成金の補正を行ったものである。  
**問** 助成金の支援期間は。  
**答** この制度は平成31年までの申請期間で、最低3年間は本市に居住していただきたいと考えている。

ソーラー電気柵等  
導入支援事業補助金

**問** 今回の補正の内容は。  
**答** 当初予算に約30件分の予算を計上していたが、今年度の申し込みが多く予算に達したことから、10件分の増額補正を行うもの。

**問** 電気柵の貸し出しも行っていたと思うが、貸し出しの現状はどうか。  
**答** 現在市で保管して貸し出しできる台数は64台であり、9月13日現在で46台貸し出している状況である。

公園維持管理経費

**問** どの公園の管理にかかる工事なのか。  
**答** 三本木地域の千貫森公園で、公園の南側斜面の一部に亀裂と崩壊箇所があり、その復旧工事となっている。

の。

議案審議（こんな事を議論しました）





現在の塚目駅

**問** 市内公園全体として草刈り、除草は年に何回行われているのか。

**答** 公園によって管理の回数、草刈りの回数は異なるが、概ね年に2回から3回で管理している。

**塚目駅移転整備計画  
調査負担金**

**問** 塚目駅周辺の方々からの要望に加え、まちづくりの観点からの総合的な見地から判断し、現在の場所から移動しての計画調査を進めていると理解しているが、駅を造るJRに対し調査経費を本市が出すということなのか。

**答** 今回の調査は、市からの要望事項という形になっているので、JRに判断してもらうための調査を行っていただく負担金を納めるものである。

**道路橋梁維持補修経費  
補正内容は。**

**問** 8月末までで修繕した金額と、既に業者に補修依頼している箇所や、要望等が寄せられている補修すべき予定箇所、それから緊急応急補修費用等を合わせると、不足する見込みであることから、今回補正を行うものである。

**工事請負契約の  
変更契約の締結**

**問** 旧市民病院の解体で、変更になった理由について。

**答** 変更、減額の理由としては、解体工事の精算を行ったものが主な理由で、解体工事にかかわる産業廃棄物の数量、解体構造物の出来高数量と、設計数量の差異があったもので、出来高に合わせて精算を行ったところ減額となったもの。

**財産の取得**

**問** 三本木スマートインターチェンジ近くの用地を工業団地用として取得できるのこのだが、地盤の強度、進入路など、どのように検討されたのか。

**答** 地盤は切り土であり、今後調査を詳しくしていきたい。道路については、拡幅する予定で進めている。

**第3回  
定例会**

傍聴人数  
**173人**  
※皆様の傍聴をお待ちします。

**第4回定例会の予定**

次の定例会は、平成29年12月7日から12月21日を予定しています。  
※日程が確定しだい、市議会ホームページでお知らせいたします。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。

**平成29年 第1回臨時会**

10月23日招集された今臨時会には、市長提出の工事請負契約の締結にかかる議案が提出され、原案のとおり可決されました。

件名			審議結果
工事請負契約締結	議案第131号	平成29年度パークゴルフ場造成整備工事	原案可決

**第1回臨時会  
議案審議**

議案質疑の要旨については次のとおりです。

**問** 入札方式は条件付き一般競争入札ということだが、どのようなことなのか。

**答** 総合評価方式による条件付き一般競争入札を採用している。この方式は、入札後に価格及び価格以外の評価を行い、総合点が高い入札者を落札者とするもので、土木工事で予定価格5千万以上のものに採用している。

**問** 軟弱地盤対策の工法は。セメントと土を混合攪拌する中層混合処理工と、ペーパードレイン工法を採用している。

**問** 工期は無理のない設定か。

**答** 工事の準備期間を含め平成29年11月に着手した場合、30年秋に芝の播種を行う工程で、1年間の養生期間を経て、31年秋に暫定オープンする工程としている。

**問** オープン後の維持管理及び運営は。

**答** 業務委託もしくは指定管理があると考えている。年度内には方針を決定したいと考えている。

議案審議（こんな事を議論しました）

# 平成28年度決算特別委員会

平成28年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定1件と企業会計決算認定2件、その他1件が提出され、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置して審査を行い、採択の結果、全議案とも原案のとおり可決及び認定するものと決定しました。

質疑及び答弁の主な内容は次のとおりです。

## 大崎ニユーマネット

### 予算執行での多額の繰越額発生

**問** 歳出で多額の繰越額が生じている。監査意見書では、今後も予算要求や予算編成時点での執行可能額の精査等に、十分意を用いる様にとの事だが必要と所見は。

**答** 繰越額は震災以降に増加傾向であるが、平成26年度への繰越額82億円を最高に40億円台まで縮減させた。28年度は、臨時福祉給付金や小学校改修事業等で、国の制度や補助金による繰越額が約3割を占めている。今後は、より一層事務事業量や、複数年度に亘る事業計画にも主眼を置いて予算措置をしていきたい。

## 大崎市誕生10周年 記念事業の検証

### 記念事業の検証

**問** 単年度事業だが、大きな成果があったと実感している。どう事業検証し生かす考えか。

**答** この事業では記念事業推進協議会を組織し、イベント企画や調整の段階から参画して頂いた。また、記念事業実行委員会は若い世代で構成され、全体として市民協働・市民参加で事業実践出来た事は、今後のまちづくりへの大きな成果であると考えている。

## 保育料における収入率上昇の要因

### 収入率上昇の要因

**問** 児童福祉費保育料で、収入率が上昇した要因をどう捉えているか。

**答** 保育料は、前年の所得に依りて応じて負担して頂くが、

支払い困難な世帯には訪問・電話催告や納付相談会等を実施した。毎年実施する納付勧奨の成果であると考えている。

## おおさき地域材需要拡大 支援事業の促進

**問** 実績件数が10件だが、交付対象者が建主だけでは地域材普及に繋がらないのでは。

**答** 市の広報やホームページ等でPRや啓発を行っている。県の補助事業を参考に制度設計したが、今後の普及に繋が様に事業内容を検討したい。

## おおさき食楽まつり 事業の継続支援



食楽まつり

**問** 「おおさき食楽まつり」は年々来場者も増えているが、事業成果と支援策への考えは。

**答** なる子ちゃんこ鍋等の地元食材を使用した出品や、沿岸部を含めた42ブースの出店等でPR効果も高いと認識している。3力年を目標に事業補助金を支出したが、今後も他補助金や広報で支援したい。

## 水道事業における委託方式の検証

**問** 市民からの料金・漏水等の問い合わせは、委託事業者が対応しているが情報共有は。

**答** 平成28年4月から、包括業務委託により、水道料金収納業務や給水装置関連事業について民間事業者に委託しているが、各担当とも緊密な連携と情報共有に努めている。

## 改新クラブ

### 大崎婚活センター 運営事業

**問** 140万円の事業費を使つて1組だけの実績では余りにも寂しい限りだ。評価と今年度の実績を伺う。

**答** 結婚そのものが極めて個人的な事情なので、取り組み

の難しさを痛感している。平成28年度で39組のカップルが成立している。

## 医療事故の発生状況

**問** 年間発生状況はどうか。

**答** 死亡等重篤なものは無かったが、軽微なものには2227件、濃厚な処置又は治療を要したもののや、障害又は後遺症が残ったものは27件だった。

**問** 件数は増加しているが、死亡等重篤な医療事故が無いのが救いだ。医療安全に対する意識が高まり、報告件数が増加したと思われる。今後の取り組みは。

**答** 定められた安全管理体制をしっかりと維持していく。

## 商店街活性化事業

**問** 商店街活性化事業は、決算を踏まえて結果はどうだったのか、次年度に向けてどのように考えているか。

**答** イベント事業については非常に良かった。人を街に呼び込む点で効果があったと思う。リニーマール支援事業については、10月より商店街のくくりをはずして、やる気のある商店主を支援していく。



創業・開業支援については、店舗を構える方に100万円を助成する。

### 下水道事業の受益者負担金の納付状況は

**問** 受益者負担金は、下水道管路等建設の推進と併せて、受益者負担の公平性上重要である。その中において、収入率73・43%で、収入未済額が892万円余であるがその要因と対策は。

**答** 要因の主なもの、高齢者のみの世帯であることなど、受益者の経済的な事由である。対策として、口座振替と分納誓約書等提出による納付強化に取り組んでいる。

## 大 志 会

### 4病院1診療所の

### 経営安定

**問** 健康管理センターを含めて4病院1診療所体制の中で、分院の診療安定のために①常勤医加算の確保②病床稼働率の向上③在宅訪問診療の充実に向けた本院との運営連携が必要と考える。また、本院と分院間の紹介・逆紹介の実績と、診療点数等が開業医から

の紹介等との差異を伺う。  
**答** 本院分院の、それぞれの役割に沿った各会議を持って努力している。教育面で高度医療機器などの技師・看護師などのレベルアップを図り、病院全体として市民の期待に応えていきたい。分院から本院への紹介は1753件、本院から分院への逆紹介は1084件となっている。本院分院は開設者が同一であり、点数査定ができないとなっている。

### 歯科衛生士の充実・ 歯科検診の向上



歯科相談コーナー（健康と福祉のつどい）

**問** 大崎市は歯の喪失率や幼児のむし歯有病率が国・県

平均より高く、逆に歯科検診の受診率は低い。その改善のために歯科衛生士を増員すべきである。合併により人口が約13万2千人になったにも拘らず、合併前の歯科衛生士2名のままであるがどうか。

**答** 幼児・未入学生児童へのむし歯などの歯科保健指導、成人歯科は自己管理できる指導を行っている。子どもから成人までの歯科検診の対象拡大や課題などについて、教育委員会や母子保健の庁内会議などで整理し、歯科医師会と相談のうえ取り組んでいる。

### 日本共産党大崎市議会議員団

### 汚染牧草の処理

**問** 汚染牧草が、12箇所で一時間保管されているが、焼却しないで安全に隔離保管する方法を検討し、東電に移転費用を請求すべきではないか。

**答** 市としては、試験焼却の理解を得て混焼をする方向であるが、今後、移転も検討してみたい。

### 子ども医療費の 所得制限撤廃を

**問** 子どもの医療費は、就学前までに病院に何度も通院し負担が大きいので、段階的に所得制限を撤廃すべきではないか。

**答** 重要課題であるが、来年度幼児医療費無償化など国で検討している中で、その中で考える。

### 戸別所得補償制度 廃止への対応

**問** 安倍政権は、「農業所得の倍増」スローガンを掲げていたが、これでどれだけ本市の農家は減収するのか。その対策は。

**答** 42億円余の減収となる。JAなどと相談して、減収にならないよう努力したい。

### 市営住宅の空室対策と 管理状況

**問** 市営住宅の空室が多いのに、募集数が少ないのはなぜか。また、除草など管理が徹底されていないがなぜか。

**答** 全地域のバランスを考えて募集している。苦情は委託先に伝え、管理の徹底を図る。

## 清 和 会

### 住宅等購入事業の拡大を

**問** 地方創生推進事業で、市外から市内に移住する若者世帯に対し、住宅新築・購入移住支援事業の要件は、「40歳以下の大崎市外に居住する人等」となっているが、この制度を拡大し年齢を広げようかと考えるがどうか。

**答** 対象要件はいろいろあるが、40歳以上についても検討してみたい。

### 人・農地プラン 推進事業内容

**問** 人・農地プラン推進事業は農林水産省の目玉プランの一つである。しかし現実的には農家から理解が得られていない。しかもエリアが広すぎて使用しづらいがどうか。

**答** 大崎市全体をカバーすることで、将来メリットが得られると考える。

公明党

子ども医療費助成事業

**問** 一般会計歳入歳出差引残高は約20億5千万円、それに対し、子ども医療費の決算は約3億8千万円であり所得制限止の可能性は。

**答** 他の事業と比較しての優先度と、また、拡大するならばどこから実施すべきか詳細に検討する。

**問** 所得制限ぎりぎりの世帯と、病気にかかりやすい0歳の医療費助成について伺う。

**答** 第1子分を緩めた場合、861人が該当となり、必要な扶助費は2500から3000万円を見込んでいる。全体のバランスを考え、可能性を探したい。前年の所得で対象が判断されるので、0歳はその年は該当にならないが、要望もあるので検討する。

おおさき市民会議

放課後児童健全育成事業

**問** 放課後児童クラブにおける、古川地域の待機児童解消

平成28年度決算審査

に向けた取り組みは、どの様に行っているのか。

**答** 各施設共に申込数が定員を上回っており、登録数を増やしているが、それでも待機児童数が本年9月現在、古川中央児童館12名、古川東児童センター3名、古川南児童センター27名、古川大宮児童センター19名、古川稲葉児童センター11名となっている。支援施設整備計画に基づいて検討しているが、場所の確保の課題もあり進んでいない。

下水道事業



楡木ポンプ場 (古川地域)

**問** ポンプ場増設の完了後の

効果地域を伺う。

**答** 常習冠水地域の解消・緩和が見込める地域は、十日町排水区内、緒絶川沿線の古川浦町、荒川小金町、中里地区などを見込んでいます。

会派に属さない議員

独居老人安否確認事業

**問** 利用率が、高齢者緊急通報システム事業8・8%、安心見守り事業7・6%と低調の理由は。

**答** 包括支援センターや高齢介護課で説明をしているが、どちらも固定電話がないとセコムに通報がいかない。安心見守り事業は、近所に3名の方を確保しなければならぬので利用が進まない。

第3回 定例会

議会中継 (LIVE) アクセス件数

4,591 件

決算特別委員長報告要旨

本委員会は、議案第120号から同第123号までの4力件の議案の付託を受け、正副委員長の互選の後、9月26日、27日、28日、29日の4日間に亘り委員会を開催しました。所管常任委員会分について、会派ごとに質疑を行い、延べ45人の委員から質疑がなされ、慎重な委員会審査を行いました。

委員会最終日に表決を行った結果、付託を受けた4力件については、全会一致で原案のとおり可決及び認定すべきものと決定いたしました。

議会を傍聴してみませんか！

議会を傍聴すると、市政の様子がわかります。

- 議場の傍聴席で傍聴 開会中はいつでもどなたでも受付ができます。議場がある大崎市役所三本木庁舎4階で傍聴できます。
- インターネット中継 議会のライブ中継や録画映像が視聴できます。市議会ホームページ (<http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/27,html>)





# 平成29年 議会報告・意見交換会



東大崎地区公民館

大崎市議会基本条例（平成24年9月13日制定）に基づき、議会報告・意見交換会を開催しています。各会場で出されたご意見等の一部を要約しご紹介します。

今年は、平成29年7月12日から21日まで、全議員30人を5班体制に編成し、市内25会場で開催しました。

## 議会運営委員会

所管分

**問** 子ども議会などを通じて、未成年、若年者への政治的関心を高めるための活動などに、積極的に取り組むべきではないか。

**答** 市議会を身近に感じていただく取り組みとして、高校生の議会傍聴の受け入れを行っています。このような取り組みを通じて、政治への関心を高めていただきたいと考えています。

今後も、特に若年層の議会傍聴の増加を図るべく、傍聴に関する情報を積極的に発信していくとともに、議会報告・意見交換会への若年層の参加増のための取り組みを検討していきます。

## 総務常任委員会

所管分

**問** （仮称）公共交通基本条例に期待する動きは清滝地区を初め、多くある。基本条例はいつごろの策定を目指しているのか。また、プロセス（手順）はどうか。人口減少、

高齢者の運転免許証返納の問題などがあり、基本条例などによって、安心して免許証の返納ができる、安定化した運行計画の実現を望む。

**答** 公共交通空白地区や交通弱者の増加、タクシー業界の運転手不足問題などがある中で、市民、交通事業者、市当局と課題を共有し、日常生活での利便性を確保する観点から、条例の必要性について議員間で討議を重ねていきます。

**問** 市民バスの乗車料金を100円にできないか。

買い物や通院にバスを利用したいが、古川駅で乗り換えが必要であり、市民病院までの直通バスは1便しかない状況である。料金も片道500円、往復1000円であり、JR鉄道を利用すると片道240円、往復480円であり、520円の差がある。

近隣の栗原市、登米市、美里町や石巻市では、利用者に優しい住民バスが運行されている。大崎市でも、住民、特に免許証を返納した高齢者等に優しいバスにできないか。

**答** 運転免許証の返納とあわせて、乗車料金の均一化が重要です。循環路線や6地域の

中心部への乗り入れが地域活性化には必要であり、100円バスについては提案をしています。

利用状況を見ると、朝夕の通学時間帯の利用者が比較的多いのですが、昼間の時間帯は、現状では乗る方の要求に沿っていないため、空気を運んでいく状態です。

運転免許証を返納した高齢者への、利用券や無料乗車券の配布、公共交通空白地区での自家用有償運送など、地区としてどういう公共交通体系がよいのか検討していきます。

**問** 昨今の住宅は、高気密・高断熱で、窓が閉められていることが多いので、屋外拡声子局からの音声を聞き取れないケースは多いものと想定する。何か別の手段を講ずる必要があるのではないかと。NTTの電話回線を利用するなどいろいろ考えられると思うがどうか。

**答** ご指摘のとおりで、屋外拡声子局からの音声で全てをカバーすることは非現実的であり、補完システムとして、難聴地区では戸別受信機の設定を進め、あわせて災害情報に関する放送内容の確認がで

きる、フリーダイヤルの防災行政無線テレホンサービスや、大崎市メール配信サービスの利用をPRしているところであります。今後も、補完システムの充実により、重層的に情報を伝達できるように全体システムを考えていきます。

**問** 小学校の統合の進捗はどうなっているのか。

**答** 平成26年度以降、複式学級解消のため、旧中山小学校や旧鹿島台第二小学校の統合が行われており、現在は平成30年4月の岩出山地域の統合に取り組んでいるところです。その後、古川地域の北中、西中学区の統合を進めていく予定にしています。

**問** 放射性物質汚染廃棄物処理問題で、昨年12月18日に三本木地域で地区説明会が開催され、約100名が参加し多くの反対の声が出された。処理に対する取り組みについて教えてほしい。

**答** これまでの県内市町村長会議で確認されたことに従い、市民の皆さんに安全・安心に

ついて説明し、理解をいただきながら進めていくようになると思われます。

また、総務常任委員会では、最終処分場の視察を実施し、大崎地域広域行政事務組合から施設機能の説明を受け、その後、地元住民代表者との意見交換を行いました。



最終処分場調査視察（総務常任委員会）

### 民生常任委員会 所管分

**問** 市民病院利用の際、市民でありながら必ず紹介状を持ってきてくださいと言われるが考えてもらえないか。

**答** 市民病院本院は急性期を担う病院となっております、市民

の皆様には、まずかかりつけ医に行っていただき、それでも対応できない等の場合は、本院を受診いただくこととなります。この理由は、本院にも患者受け入れ能力の限界があり、初期の治療はかかりつけ医としているからです。

**問** 地域医療支援病院とは、患者を支援する病院ではないのか、病院を支援する病院になつていると思うがどうか。

**答** 病院には役割分担があり、一般の開業医の先生方や民間病院が担っているかかりつけ医と、手術や重篤な患者を診る急性期病院があり、大崎市民病院本院は急性期の役割を担う病院になっています。

これらの理由などにより市民病院本院は、地域における診療体制が弱い小児科や産婦人科などを除く診療科は、紹介状のある患者を中心に診療しておりましたが、議会からの要望などもあり、新病院開設時には初診料をご負担した

だければ、受診できるようになっていきます。

**問** 田尻地域において介護問題で悩んでいる方が多いが、今度開設される施設の規模はどうか。

**答** 認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）が18人で、その他では地域密着型介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が、29人の規模となっております。



田尻地域に完成予定のグループホーム（イメージ図）



## 産業常任委員会

所管分

**問** 世界農業遺産登録への取り組み状況とメリットは何か。

**答** 世界農業遺産登録に向けて、平成29年3月に「大崎耕土」の巧みな水管理による水田農業システムとして、日本農業遺産に認定されています。

世界農業遺産の認定が受けられれば、国内や海外に向けての農産物の販売、そして大崎ブランド化などに、さらに大きな付加価値を増すものと考えています。

**問** 熊やイノシシなどの有害鳥獣被害対策を進めて欲しいが。

**答** ソーラー電気柵等の導入を支援する事業を実施するとともに、有害鳥獣被害対策協議会及び実施隊を立ち上げ、対策に取り組んでいます。

また、ハクビシンなどへの対策には、捕獲用のおりの貸し出しを実施しています。

**問** 放射性物質汚染廃棄物の処理に対する取り組みはどうか。

**答** 宮城県内の市町村長会議

が平成29年7月に開催され、

1キログラム当たり8千ベクレル以下の廃棄物を保管する自治体が、圏域ごとに焼却などの個別処理を進めることとする県の新しい方針が合意されました。今秋にも試験焼却を実施し、来年度からの本焼却を目指すこととし、住民説明会を開催し理解を得ることにしています。更に、本市では、5月に鳴子温泉地域の市有牧草地約1500㎡に約3tの汚染牧草をすき込む作業を実施していますが、住民の理解を得て安全を担保する仕組みを構築しながら、処分を進める必要があると考えています。

**問** 企業誘致をさらに進めるべきと思うが状況はどうか。

**答** 古川地域小野の新鶴巻工業団地13・8ha(工場用地11ha)は大部分が農地であるため、その土地利用調整後に整備着手する予定です。また、三本木地域桑折の三本木スマートインターチェンジ東部工業団地6ha(工業用地3ha)は、比較的小規模な工業団地として整備する予定です。これらの工業団地整備により、雇用の確保が図られるよう積極的

に取り組んでいきます。

## 建設常任委員会

所管分

**問** 整備された北原工業団地に、アルプス電気が生産拠点

を移す計画が示された。社員の通勤車両が、2千台とも予想される中であって、道路整備を早急に求める地域の声がある。道路整備をどの様に取

**答** 稲葉小泉線の完成まで時間を要することから、担当課

では、通勤車両向けに早急に道路整備計画に取り組んでおります。しかし、農作業にも支障の出ない安全な道路としての考えから、地区に示した整備案では理解が得られなかつたとして、第2案の整備計画をまとめ、再度地区住民皆様の理解が得られるよう整備を進めていく予定です。

**問** (仮称)道の駅おおさき計画が示されているが、予定地

付近は渋滞が予想される。その対応策は考えているのか。

**答** 防災拠点整備計画のもと事業を行う予定で、国からの交付金を活用し、駐車場やト

イレを整備する計画です。渋滞緩和策として、国道108号へ右折レーンの整備等を考えています。

**問** 太い雑木等が河川内に繁

茂し、洪水の際に下流に流され、河川を塞ぎ止めるなどし、多大な被害をもたらした実例がある。また、ツキノワグマなど野生鳥獣の生息場所となり危険であることから、早急な整備が求められる。国・県にも働きかけてほしい。

**答** 市内各地の河川内に雑木

等の繁茂が確認されています。国の河道掘削や立木伐採は進行中ですが、担当課に対しても関係機関への働きかけの強化を求めています。また、建設常任委員会は、国の機関を直接訪問し、河川整備計画の調査・勉強会を実施しました。引き続き減災に向けた取り組みを注視してまいります。

**問** 鹿島台駅が立派に完成し

たが、駅舎の中は何もなく寂しい。有効な活用策はないか。

**答** 駅舎内通路は、市道の位置付けであり、活用策については様々な検討を行っています。現在は壁画や、子ども達の習字などの作品展示を実施して

います。今後の待合室整備や活用策などについても、まちづくり協議会などで検討しています。

**問** 志田橋から松山山王まで

の県道は道路の傷みや危険箇所も多い。また、鹿島台に向かう県道の松山新田踏切付近は歩道もなく危険である。県に働きかけるべきでないか。

**答** 志田橋山王区間については、堤防を利用しない路線を設計し、平成31年度完成に向け整備が進行中です。今年度は800mの工事を行う予定です。また、県道鹿島台高清水線の松山新田踏切付近でも、県北部土木事務所によると、整備に向け設計費3千万円が計上され事業が進行中です。



開通が待たれる下伊場野山王線(松山地域)

## 〈平成29年議会報告・意見交換会 参加者アンケート集計結果（抜粋）〉

回収率 68.2% 回答者数325 / 参加者数476

## ●議会報告・意見交換会の内容について

区分	回答者数	構成比(%)	区分	回答者数	構成比(%)
わかりやすかった	160	49.2	無回答	34	10.5
どちらともいえない	121	37.2			
わかりにくかった	10	3.1	合計	325	100.0

## ●市議会だよりを読んでいますか。

区分	回答者数	構成比(%)	区分	回答者数	構成比(%)
読んでいる	276	84.9	無回答	32	9.8
読んでいない	17	5.2	合計	325	100.0

## ●市議会ホームページを見ていますか。

区分	回答者数	構成比(%)	区分	回答者数	構成比(%)
よく見ている	31	9.5	無回答	40	12.3
たまに見る	95	29.2			
見ていない	159	48.9	合計	325	100.0

## ●市議会の議会中継を見ていますか。

区分	回答者数	構成比(%)	区分	回答者数	構成比(%)
よく見ている	29	8.9	無回答	39	12.0
たまに見る	62	19.1			
見ていない	195	60.0	合計	325	100.0

## 議会報告・意見交換会を終えて

議会運営委員会

委員長 富田文志



めていますが、第3回定例会  
会期中に、議員間の意見交換  
を行い、内容を検討して今後  
の方向性を見定めることにし  
ています。

防災・減災については、こ  
れまでは大地震に備えた安全  
対策や避難訓練を行ってきた  
ましたが、平成27年9月11日  
の関東・東北豪雨被害のように、  
局地的に短時間で大きな被害  
を受ける豪雨に備える必要  
も取り上げられました。

大崎市議会では、平成24年  
に制定した「大崎市議会基本  
条例」の、広報広聴活動に関  
する取り組みの一つとして、  
議会報告・意見交換会を開催  
しています。

また、市内各地に設置され  
た防災行政無線の聞き取りに  
くさの問題や、戸別受信機に  
関するご意見もいただきまし  
た。

今年、テーマを「公共交  
通」と「防災・減災」として、  
7月12日から21日までの5日  
間、市内25会場で開催し47  
6名の皆様に参加をいただき  
ました。

公共交通については、現在  
総務常任委員会が公共交通条  
例制定に向けて調査研究を進

そのほか市政全般、地域課  
題等についても、たくさん  
のご意見やご提言をいただき  
ました。各会場でいただいた  
意見やご提言は、議会の各担  
当委員会に振り分けをして調  
査等を行い、市の担当部局と  
連携を取り、今後の市政運営  
に活かしてまいります。



## 市役所庁舎建設調査特別委員会 行政視察報告

市役所庁舎建設調査特別委員会（議員11名で構成）の先進地視察研修を、8月22日から23日までの日程で行いました。

新潟県新発田市と新潟県燕市を訪問し、庁舎の現地調査及び担当者から庁舎建設事業に関する説明を受けました。

新発田市（人口約10万人）の新庁舎は、本年1月に完成し建設にあたっては、市民に対する全世帯アンケートの実

施や策定委員会の設置等、市民とのコンセンサスを図り、庁舎がまちづくりを担うという視点から市街地中心部を建設位置とし、大型可動建具を使用したラウンジが広場として整備されています。

燕市（人口約8万人）の新庁舎は、平成25年5月に完成し、来庁者にわかりやすい窓口の配置によるワンストップサービスの実施や、防災拠点機能の強化という面から、地

下に免震装置を配置した免震層や、屋上にヘリポートが設置されています。

両市とも、市民が気軽に立ち寄り交流できる庁舎、また、まちづくりの拠点となる庁舎をコンセプトとしています。

本市においても、七日町西地区再開発事業等のまちづくりと連携し、ワンストップで市民が利用し易く、防災機能や環境に配慮した庁舎が建設されるよう、今回の視察研修を活かし、特別委員会として今後も調査を行ってまいります。



大型可動建具を利用したラウンジ（新発田市役所）



住民の各種申請窓口をワンフロアに集約（燕市役所）

## 表紙の写真

頑張っている大崎の人、今回の登場は、女性消防団員です。

9月30日に第23回全国女性消防操法大会が秋田県で開催され、大崎市消防団に所属する女性消防隊10名が、宮城県の代表として出場しました。

4月20日から訓練を開始し、家族や職場の理解と協力を得ながら、48回の全体訓練と8回の個別強化訓練を行い、全国大会優勝を目指し励んでまいりました。大会当日は、強風や雷雨に見舞われる中での開催となりましたが、本市女性消防隊はこれまでの訓練の成果を十分に発揮することができました。結果は惜しくも入賞することはありませんでしたが、これまでの訓練と、全国大会の出場により女性消防団員が得たものは、

計り知れない宝となったに違いありません。

平成19年に初の女性団員が入団してから10年、現在本市女性消防団員は11名となりました。今後とも、地域防災の要として、そしてこれからの女性活躍のフロントランナーとして、大いに活躍することを期待しています。



# 初めての議会傍聴

第3回定例会に、古川学園高等学校普通科総合コース2年生の皆さんが傍聴に来られました。市議会では、今後も若い世代の政治への関心を高めるため、傍聴を積極的に受け入れていきます。

また、傍聴された古川学園の皆さんから感想をいただきましたので、一部ですが下記に紹介します。

- 老若男女が利用する道の駅の整備や地区の排水処理など、私たちの暮らしに身近な内容が議論されていて、意外でもあり、共感する部分もありました。私たちの生活の向上に向けて活動して下さっていることを議会の傍聴を通して、改めて分かりました。私も来年は有権者となるので、自分にできることを考えて行動していかなければと思いました。
- 防災や環境、市で行われている取り組みについて、細部にわたって話し合われていて、難しい部分もありましたが、今日の大崎市がどのような状況なのかということを理解することができました。私の家の近所でも、森林の管理が行われてきたので「治山治水への取り組み」や「大崎市森林ビジョンの実現」に向けた議題は、とても身近な問題に感じられました。市民や企業の意見がしっかりと議題に取り上げられ、生活に反映されているのだと思いました。
- 何気なく生活している私たちの社会は、多くの方々の議論を通して支えられていることを知り、議会の重要性を改めて感じました。また、ある議員さんの話の中で「子どもたちが誇れる町づくり」を考えていかなければならないという言葉聞き、とても嬉しく思いました。今の社会のことだけではなく、将来のことも見据えた話し合いがされていることを身をもって確認できて良かったです。
- 私たち住民の意見は、代表の議員の方々を通じて議論されていることを今回の傍聴で感じることができました。来年は私も18歳になって選挙に参加することができますが、地方自治についてより関心を高め、地域をより良くするために、意見を積極的に述べていくことが大切だと思いました。



## 編集を終えて

今定例会は平成28年度決算審査を行い、全会一致で可決しました。様々な議論が新年度予算編成に活かされるよう期待します。

また、「北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に抗議する決議」も全会一致で可決しました。平和的解決を心から願うものです。

第48回衆院選、そして県知事選も終了し、あわただしく年の瀬を迎えようとしています。新しい年がしっかりと地方創生を実感できる「大崎市」の実現に、議員それぞれが決意を新たにしています。

来年も市民の皆様へ愛読される市議会だよりの発行に努めてまいります。

後藤 錦信

### ◆情報化対策特別委員会◆

委員長 中 鉢 和 三 郎  
副委員長 木 内 知 子  
委員 八 木 吉 夫  
相 澤 久 義  
山 田 和 明  
後 藤 錦 信  
豊 嶋 正 人  
青 沼 智 雄

〃 〃 〃 〃 〃